

見える。
 つなぐ。
 ヤマハ。

2023年12月発売予定

 スマートL2スイッチ **NEW**

SWX2220-18NT

 希望小売価格(税抜) 220,000円 **2.5GbE×12** **10GbE×4** **SFP+×2**

SWX2220-26NT

 希望小売価格(税抜) 265,000円 **2.5GbE×20** **10GbE×4** **SFP+×2**

 スマートL2 PoEスイッチ **NEW**

SWX2220P-18NT

 希望小売価格(税抜) 270,000円 **2.5GbE×12** **10GbE×4** **SFP+×2** **PoE+ Max 247W**

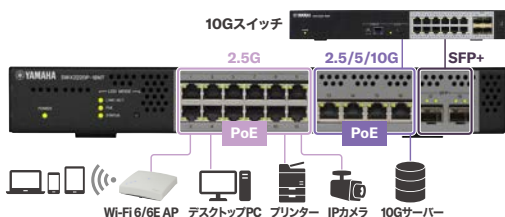
SWX2220P-26NT

 希望小売価格(税抜) 325,000円 **2.5GbE×20** **10GbE×4** **SFP+×2** **PoE+ Max 370W**


Wi-Fi 6/6E対応無線LANアクセスポイントを多数収容可能 2.5G/10G対応スマートL2スイッチ

Wi-Fi 6/6E対応無線LANアクセス ポイントや高速なLANポートを持つ 機器を多数収容可能

2.5ギガビットに対応したLANポートを12個または20個、10ギガビット/マルチギガビットに対応したLANポートを4個、SFP+ポートを2個搭載しています。10ギガビット/マルチギガビット対応ポートは、CAT5e/6ケーブルを利用して2.5/5ギガビットの通信が可能のため、敷設済みのLANケーブルの張り替え工事が不要でネットワーク環境をアップデートできます。さらに、アップリンクポートとして10GbE/SFP+対応のポートを利用し、複数の2.5ギガビット通信を効率的に上位のネットワーク機器へ転送できます。また、PoEモデルでは、すべてのLANポートでIEEE 802.3atに対応しているため、ミドルレンジ以下のWi-Fi 6/6E対応無線LANアクセスポイントを多数収容することができます。



保守/運用業務を軽減する連携機能に対応

●LANの見える化「LANマップ」(エージェント)

ヤマハルーターやインテリジェントL2スイッチ、L3スイッチと組み合わせることで、本製品に接続された端末を含め、LAN全体のネットワーク状態を確認できるため、トラブル対応や日頃の保守/運用業務の負荷を大幅に軽減します。

●「LLDP自動設定機能」によるヤマハ無線APとの連携

ヤマハ無線LANアクセスポイントを接続するだけで、以下の設定に対応。保守/運用に便利な機能を手軽に使用することができます。

スイッチ ・無線AP内蔵のRADIUSサーバーを自動認識 ・無線APの自動死活監視
無線AP ・PoE給電停止前にログを保存(スイッチのPoEスケジューリングと連動)



スマートL2スイッチ機能を強化

●Web会議アプリケーション向けQoS最適設定

GUIからの簡単な設定で、Web会議アプリの通信を優先できます。

●LACP(IEEE 802.3ad)

耐障害性の高いネットワークを構築可能です。

●DHCPスヌーピングやACLフィルター条件の追加

セキュアなネットワークの実現に貢献します。

●Continuous PoE機能

スイッチ再起動中もPoE給電を維持し、システムダウンタイムを最小限にします。

●パフォーマンス観測機能

トラフィック、CPU/メモリー使用率、機器全体の消費電力(概算値)を統計情報として記録/表示し、日頃の保守/運用業務や消費電力の削減に活用できます。

LAN構築に関する相談をお受けしています！

 [LAN構築相談窓口] https://network.yamaha.com/support/lan_consult/

SWX2220/SWX2220P仕様表

項目		スマートL2スイッチ		スマートL2 PoEスイッチ	
		SWX2220-18NT	SWX2220-26NT	SWX2220P-18NT	SWX2220P-26NT
インターフェース	LANポート数	12(2.5G/1G/100M)※4 4(10G/5G/2.5G/1G/100M)※5	20(2.5G/1G/100M)※4 4(10G/5G/2.5G/1G/100M)※5	12(2.5G/1G/100M)※4 4(10G/5G/2.5G/1G/100M)※5	20(2.5G/1G/100M)※4 4(10G/5G/2.5G/1G/100M)※5
	SFP+スロット数	2			
	オートネゴシエーション	○			
PoE	Auto MDI/MDI-X	○			
	PoE給電可能ポート数	—		16(ポート1~16、IEEE 802.3at準拠)	24(ポート1~24、IEEE 802.3at準拠)
	給電方式	Alternative A(データ線1、2、3、6利用)			
	Continuous PoE	○			
	最大給電能力(1ポートあたり)	—		30W	
性能	最大給電能力(装置全体)	—		247W	370W
	スイッチング容量	180Gbit/s	220Gbit/s	180Gbit/s	220Gbit/s
	転送能力※1	133.93Mpps	163.69Mpps	133.93Mpps	163.69Mpps
	レイテンシー※2	1.3μs/4.1μs/6.2μs/3.4μs/15.9μs (10G/5G/2.5G/100M/100M)	1.3μs/4.0μs/6.3μs/3.4μs/15.9μs (10G/5G/2.5G/100M/100M)	1.3μs/4.1μs/6.2μs/3.4μs/15.9μs (10G/5G/2.5G/100M/100M)	1.3μs/4.1μs/6.3μs/3.4μs/16.0μs (10G/5G/2.5G/100M/100M)
	最大MACアドレス登録数	16,384			
	フレームバッファ	2MB			
	ジャンプフレーム対応サイズ	最大10,240byte			
リンクアグリゲーション		スタティック設定、LACP(IEEE 802.3ad)			
Layer2	VLAN	ポートベースVLAN、タグVLAN(IEEE 802.1Q)、マルチプルVLAN			
	最大VLAN数	256(VLAN ID 1~4,094)※6			
	ループ検出	○(ブザー通知)			
	バススルー	BPDU/EAPバススルー			
Layer3	DHCP Snooping	○			
	基本設定	ARP, IP interface(IPv4, IPv6)、DNSクライアント			
IPマルチキャスト	Layer2	IGMP Snooping(v1/v2/v3)、MLD Snooping(v1/v2)			
	ACL	IPv4 ACL、IPv6 ACL、MAC ACL			
制御	QoS	送信キュー割当て(CoS、DSCP、ポート優先度)、リマールキング(CoS、DSCP)、スケジューリング(WRR、SP)			
	フロー制御	IEEE 802.3x(全二重)、HOLブロッキング防止			
	ストーム制御	○			
管理/設定	管理プロトコル	SNMP(v1/v2c/v3/Private MIB)			
	セキュリティ、認証機能	ポート認証(IEEE 802.1X認証)、ダイナミックVLAN			
	プログラム管理	TFTPによる更新、Web GUIによる更新			
	ロギング機能	メモリーに蓄積、SYSLOGでの出力、定期的なログのバックアップ機能、L2MSマネージャー※3へのイベント出力			
	ログ記憶容量	最大1,500行			
	サポート機能	ポートミラーリング、ポートシャットダウン、リンクスピードダウンシフト、パケットカウンター、省電力モード(IEEE 802.3az EEE)、DHCPクライアント、時刻管理(手動設定、SNTP)、スケジュール機能、ケーブル診断機能、端末監視機能、LLDP自動設定機能、パフォーマンス観測機能			
	L2MSエージェント※3	L2MSマネージャー※3のWeb GUIによる設定/状態表示/管理、ネットワーク構成表示、CONFIGの保存/復元			
ハードウェア	CONFIGスイッチ	8つ(将来の拡張用)			
	設定手段	Web GUIによる設定、TELNET/SSHによるコマンドを使用した設定、TFTPによるダウンロード/アップロード、L2MSマネージャー※3のWeb GUIを使用した設定			
	GUIの推奨ブラウザ	・Windows: Microsoft Edge, Google Chrome, Mozilla Firefox ・macOS: Safari ・iPadOS: Safari※7			
	状態表示インジケータ(前面)	POWER、LED MODE、LAN(LED MODEボタンによりLINK/ACT、STATUS設定を切替えて表示)		POWER、LED MODE、LAN(LED MODEボタンによりLINK/ACT、PoE、STATUS設定を切替えて表示)	
	動作環境条件	周囲温度0~50℃、周囲湿度15~80%(結露しないこと)			
	電源	AC100~240V(50/60Hz)※8、電源内蔵(電源スイッチなし)、電源インレット(3極コネクタ、C14タイプ)			
	最大消費電力(皮相電力)、最大消費電流、発熱量	45W(89VA)、0.89A、162kJ/h	59W(92VA)、0.92A、211kJ/h	321W(325VA)、3.2A、1,156kJ/h	478W(490VA)、4.9A、1,720kJ/h
筐体	金属筐体、ファン:2基	金属筐体、ファン:3基	金属筐体、ファン:3基	金属筐体、ファン:4基	
電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCIクラスA、RoHS対応、省エネ法準拠				
外形寸法(突起物を除く)	330(W)×44(H)×294(D)mm	440(W)×44(H)×294(D)mm	330(W)×44(H)×294(D)mm	440(W)×44(H)×294(D)mm	
質量(付属品含まず)	3.0kg	3.9kg	3.4kg	4.3kg	
付属品	電源コード(3ピンプラグ)、電源コード抜け防止金具、はじめにお読みください(保証書付)、ゴム足、ダストカバー(SFP+スロット取付け済み)、ラックマウント用金具、ウォールマウント用金具、取付ネジ				
オプション	SFPモジュール、SFP+モジュール、ダイレクトアタッチケーブル				
省エネ法表示項目※9	エネルギー消費効率(W/(Gbit/s))	A区分 0.4	A区分 0.5	A区分 0.5	A区分 0.5
	最大実効伝送速(Gbit/s)	90.0	110.0	90.0	110.0
	測定時ポート速度とポート数	2.5Gbit/s:12、10Gbit/s:6	2.5Gbit/s:20、10Gbit/s:6	2.5Gbit/s:12、10Gbit/s:6	2.5Gbit/s:20、10Gbit/s:6
	PoE最大給電電力(W)	—		247.0	370.0

※1) フレームサイズ64byte時(ノンブロッキング)です。 ※2) RFC2544に準じた測定値(ストア&フォワード方式、フレームサイズ64Byte)です。 ※3) L2MS(Layer2 Management Service)は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。L2MSエージェント対応機種は、技術情報(RTpro)サイトにて公開しております。 ※4) 2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TXに対応しています。 ※5) 10GBASE-T、5GBASE-T、2.5GBASE-T、100BASE-TXに対応しています。 ※6) VLAN ID 1はデフォルトVLAN IDです。ユーザーが設定可能なVLAN数は255個になります。 ※7) ブラウザのバージョンは、最新バージョンにしてご利用いただくことを推奨します。また、最新のWebブラウザ対応状況は、技術情報(RTpro)サイトにて公開しております。 ※8) 付属の電源コードを使用する場合は、日本国内AC100Vのみ使用可能です。 ※9) 「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づくスイッチの表示事項です。2.5Gbit/sのポートを2.5Gbit/sで通信させて消費電力を測定し、基準値を計算する時には1Gbit/sのポートは1Gbit/sと読み替えて計算式を適用しました。

各部名称



同梱設置金具



安全に関するご注意 ● 本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。
● 本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をいたしません。 ● このカタログの記載内容は2023年11月現在のものです。 ● 仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。 ● 価格には本体設置費用は含まれておりません。 ● 本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

ヤマハネットワーク製品お客様相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ 03-5651-1330 ■ FAXによるお問い合わせ先 ☎ 053-460-3489 ■ ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎ ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください。 <https://network.yamaha.com/>

お問い合わせ先



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2023年11月作成

カタログコード MSWX222001